

競技注意事項

1 競技場の入場に関して

1. 入場について

(1) 共通項目

- ① メインスタンドの入場は、各学校の陸上競技部顧問、競技役員、マネージャー（高校生2名以内）のみ許可する。
- ② 各学校の陸上競技部顧問は、入場するすべての者の体調を確認し学校受付時に報告する。体調管理チェックシートの提出は不要だが、各自で記録し体調管理を行うこと。
- ③ 大会後2週間は「大会後/個人管理用」チェックシート（高体連ホームページ参照）を活用し、体調等を記録しておく。

(2) 出場選手

- ① 入場管理シートを一人1枚準備する。（3日間使用可）
- ② 選手はメインスタンドの観客席へ入場できない。
- ③ 招集時は、招集所（メインスタンド1階出入口前）で入場管理シートを提示し、招集完了印を受ける。
- ④ 招集完了後に競技場への入場が可能となる（朝のウォーミングアップ時を除く）。
- ⑤ 競技場入場時は、各種目別入場ゲートで入場管理シートを提示し、入場済印を受ける。
- ⑥ 入場後は出場競技が終了するまで退場できない（再入場不可）。
- ⑦ 準決勝・決勝、混成競技（初回入場を除く）に出場する選手の招集は、アスリートビブスで確認する。また、競技場入場時はアスリートビブスを入場IDとする。
- ⑧ 密集を避けるため、招集時間を厳守する。
- ⑨ 競技場内での荷物管理のため、ビニル袋（40cmサイズ以上）を各自で1枚用意し、個人の荷物をまとめる（荷物置場用にテントは設置しない）。
- ⑩ 競技終了後は速やかに入場したゲートから競技場を出る。
- ⑪ 記録の掲示は、準決勝・決勝進出者のみとする。準決勝・決勝進出者は記録速報サイトまたは正面出入口付近の掲示を見て確認する。

(3) 競技役員・顧問・マネージャー・補助員

- ① 入場受付は、競技役員・補助員はメインスタンド1階出入口前で、顧問・マネージャーはメインスタンド2階出入口前で行う。
- ② 競技役員の入場IDは審判員証またはリストバンドとする。
- ③ 顧問・マネージャーには受付時に入場IDを配付する。
- ④ 補助員には受付時に補助員IDを配付する。
- ⑤ メインスタンドを利用する場合は2階中央出入口から入場する。

(4) 保護者の観覧について

- ① 保護者は芝生スタンドの指定されたエリアで観覧できる。
- ② 指定されたエリアへは芝生スタンド付近の外側から入場できる。
- ③ 観覧場所であるため、場所取りは禁止する。

2. 招集所について

招集所はメインスタンド1階出入口横に設置する。招集完了後に競技場への入場が可能となる。

3. 待機場所について

原則として、選手は各学校に割り当てられたエリア（高体連ホームページ参照）で待機する。

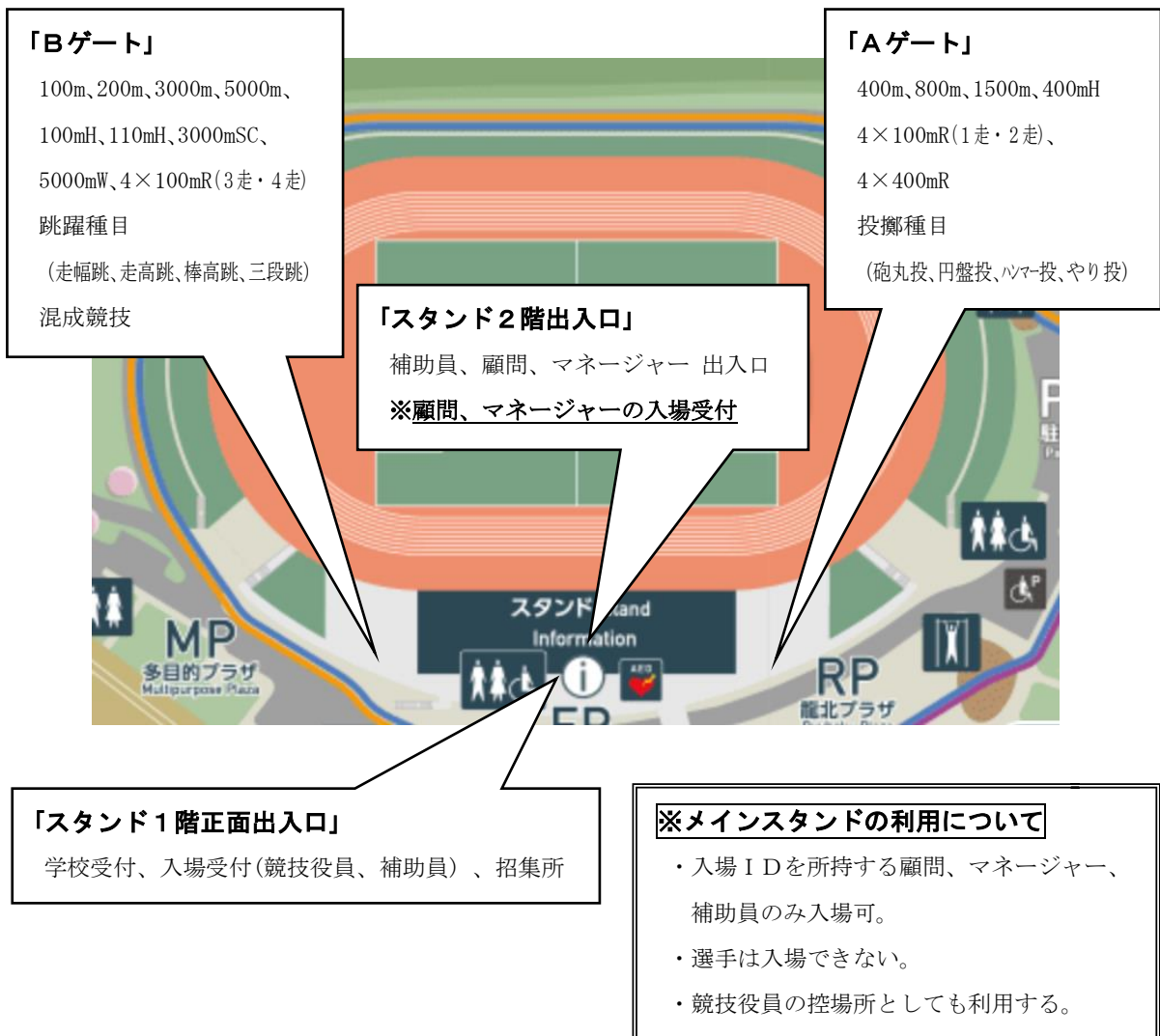
4. 更衣室の利用について

- (1) メインスタンド1階にある更衣室（男女別）が利用できる。
- (2) 更衣室の利用時は、メインスタンド1階正面出入口で更衣室使用許可のカードを受け取り、更衣室を使用する（1回5分以内）。また、更衣室利用時の定員を20名程度とする。

5. その他

- (1) 各自で出したごみは必ず持ち帰る。（清掃当番校の割り当てはありません）
- (2) 全競技終了後に表彰式（男女別、総合・トラック・フィールド各優勝校、最優秀選手）を行う。

6. 入場口・招集所位置



2 競技規則に関する内容

1. 競技運営について

本大会は、2023年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会申し合わせ事項により実施する。

2. ウォーミングアップについて

(1) ウォームアップ場（サッカー場）

- ① 当日の競技開始時刻の2時間前から開場する。
- ② 当日出場する選手のみ使用可。入場時はアスリートビブスを提示して確認を受ける。
- ③ 場内では、跳躍練習および投てき練習（メディシンボールを使った練習やハードルを持ち込んでの練習を含む）はできない。
- ④ スパイクシューズは使用禁止とする。
- ⑤ ウォームアップ場内にテントを設営するなど、学校の待機場所として使用しない。
- ⑥ 他人の怪我につながる可能性のある行為をしない。

(2) 競技場トラック

- ① 当日の競技開始時刻の2時間前から競技開始30分前まで使用できる。
- ② 当日の種目に出場する選手のみ使用可。入場時に入場管理シートを提示して確認を受ける（招集完了印は不要）。
- ③ 最初のトラック競技の開始30分前までに競技場から退場する（フィールド種目と混成競技に出場する競技者を除く）。

3. 招集について

- (1) 招集所は、メインスタンド1階正面出入口付近に設ける。
- (2) 招集完了時刻に遅れた競技者は、該当種目を棄権とみなして処理する。
- (3) 各種目の招集開始時間と完了時間を以下のとおりとする。

		招集開始	招集完了
トラック競技		競技開始40分前	競技開始20分前
フィールド競技	棒高跳以外	競技開始60分前	競技開始40分前
	棒高跳	競技開始90分前	競技開始80分前

(4) リレーのオーダー用紙について

- ① オーダー用紙は招集所へ提出する。
- ② 予選は招集完了時刻の30分前まで、**準決勝・決勝**は招集完了時刻の1時間前までに提出する。

4. アスリートビブスについて

- (1) 規定のものを胸部・背部に必ず固定する。
- (2) 跳躍競技については胸と背のいずれか一方のみでもよい。
- (3) トラック競技に出場する競技者には、写真判定用の腰ナンバー標識を招集時に配付する。右腰のやや後部につけること。

5. 表彰および各種目の得点について

- (1) 各種目 6 位までに賞状を授与する。
- (2) 各種目の得点は、1 位 6 点、2 位 5 点、3 位 4 点、4 位 3 点、5 位 2 点、6 位 1 点とする。
- (3) 男女とも総合は 6 位まで、トラックの部とフィールドの部は 3 位までの学校に賞状を授与する。

6. 東海大会について

- (1) 各種目 6 位入賞者（チーム）は東海大会へ出場できる。ただし、男女の競歩は 5 位まで、混成競技と女子の棒高跳・三段跳・ハンマー投は 4 位までとする。なお、男女走高跳・男子棒高跳は上位 6 名、女子棒高跳は上位 4 名とする。
- (2) 東海大会の申込手続きは学校単位とし、引率教員が大会期間中に本部で行うこと。

3 競技に関する内容

1. 競技器具・競技用靴について

- (1) 競技器具は原則として競技場備え付けのものを使用する。
- (2) 棒高跳の「ポール」、やり投の「やり」については私物を使用してもよい。ただし、私物は検査を受けたのちに使用することができる。また、「やり」については主催者が一括で借り上げ、参加競技者間で共有できるものとする。
- (3) 競技器具の検査は次のとおりとする。
 - 検査時間 招集開始 1 時間前から招集開始時刻まで
 - 検査場所 ポール・・・競技場所
やり・・・Aゲート通路
- (4) 競技用靴はTR5.2を適用する。規格外のシューズを使用して競技に出場した場合は失格として取り扱う。
- (5) フィールド競技用シューズについてはTR5.2の適用除外（2024年10月31日まで）とする。記録は国内の公認記録として認められる。
- (6) スパイクのピンの長さは 9 mm 以下とする。ただし、走高跳・やり投については 12 mm 以下とする。いずれの場合も本数は 11 本以内とする。

2. 競技実施方法について

(1) トラック競技

- ① 計時は全て写真判定装置を使用する。
- ② 次の種目においては制限時間を設け、競技を打ち切る目安とする。
 - 男子5000m：22分 ○男子5000m競歩：30分 ○女子3000m：15分 ○女子5000m競歩：35分
- ③ ハードル種目については競技開始前に練習時間を設ける。予選は競技開始前の10分間、準決勝・決勝は競技開始前の5分間とする。
- ④ 男女5000m競歩および男女ハンマー投において、各支部予選会で標準記録を突破していない選手は、本大会に出場できない（氏名・所属のみプログラムに記載）。

(2) フィールド競技

- ① 投てき競技の計測は光波測定器を使用する（運営上の理由で変更する場合がある）。
- ② 走高跳を除く跳躍競技とやり投の競技者は、主催者が用意したマーカーを助走路の外側に2個まで置くことができる。
- ③ 走高跳の競技者は、各自で用意したマーカー（粘着テープ）を助走路内に2箇所まで使用できる。
- ④ サークルを使用する投てき競技の競技者は、マーカーを1個だけ使用できる。
- ⑤ 三段跳の踏切板は、砂場から男子12m、女子9mの地点に設置する。
- ⑥ 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、競技者が最後の一人となり優勝が決定するまでは次のとおりとする。ただし、天候などの状況により変更することがある。

種目		練習	1	2	3	4	5	以降
走高跳	男子	1m75 1m90	1m80	1m85	1m90	1m95	1m98	3cmずつ
	女子	1m40 1m55	1m45	1m50	1m55	1m58	1m61	3cmずつ
棒高跳	男子	3m50 4m20 4m60	3m60	3m80	4m00	4m20	4m30	10cmずつ
	女子	2m10 2m60 3m10	2m20	2m40	2m50	2m60	2m70	10cmずつ
混成走高跳	男子	1m35 1m50	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	3cmずつ
	女子	1m20 1m35	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	3cmずつ

3. 競技運営について

- (1) 競技者は、ビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似品の機器を競技場内で所持又は使用することはできない。
- (2) 競技者は、競技場所から勝手に離れることはできない。
- (3) 抗議は、競技規則で定められた時間内（結果がアナウンスされた時刻を正式発表とする）に、競技者自身もしくは代理人が担当総務員を通じて審判長に対して口頭で行い、控室で待機する。その後の審判長裁定に不服の場合は、預託金（1万円）を添えて「抗議申立書」により担当総務員を通じて Jury に申し出る。
- (4) スタート時のイエローカード（以下、YC）について
 - ① WA 競技規則 CR18.5 の規定により、TR6、16.5、17.14、17.15.4、25.5、25.19 に違反があった競技者やリレーチームに YC を提示し警告を与える。この場合、他の種目との合算はなく、種目ごとに累積し種目ごとにリセットする。
 - ② 同一種目で2回のYCの提示を受けた競技者は、当該種目を失格とする。ただし、それ以後の他の種目の出場は可能である。YCの提示の累積は、当該種目のみに適用する。

4. 番組編成について

- (1) トラック競技（予選）のレーン順、フィールド競技の試技順はプログラム記載の順とする。
- (2) レーンで行うトラック競技で欠場者がいる場合、該当のレーンは空けて実施する。
- (3) 記録の掲示は準決勝・決勝進出者のみとする。準決勝・決勝進出者はメインスタンド正面出入口付近の掲示又は記録速報サイトを見て確認する。
- (4) タイムによって次のラウンドに進出する競技者を決定するにあたり、同記録の場合は、写真判定主任が0.001秒の実時間を判定して進出者を決定する。それでも決定できない場合は抽選とする。

5. その他注意事項

- (1) 各校引率教員（顧問）は、大会当日の出場競技開始30分前までに学校受付を済ませる。この受付がない場合、選手は競技に参加できない。
- (2) 選手の変更は認めない。
- (3) ごみの持ち帰りに務めること。近隣のごみ箱等に捨てることはしない。
- (4) 応急処置が必要な場合、健康上の問題が生じた場合は医務室に連絡する。競技場での疾病・傷害に対する応急処置は主催者で行うが、以後の責任は一切負わない。
- (5) 貴重品の管理は各自で責任をもって行う。

◆競技者の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影について以下の点にご協力ください◆

- ※ 保護者および本人の了承がない撮影を禁止します。
- ※ 撮影禁止エリアは下記のとおりです。
 - ◎ 各種目のスタート後方
 - ◎ 走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳の助走後方と着地前方
 - ◎ 走高跳マットに向かった正面（クリアランス動作中）
- ※ 選手がスターティングブロックの足合わせを行っている間や試技を待っている間、身体を動かしている間など競技の準備を行っているときは撮影禁止です。
- ※ 他者に著しく迷惑をかける行為と主催者が判断した場合は、速やかに警察及び関係機関に連絡します。

<速報サイト> <http://aichi22.com/koukousoutai/nans21v/shtml/TimeTable.html>

